

議員活動の目標（公約）

議員活動の自己評価

この「議員活動の目標（公約）」は、2年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

評価期間：令和元年 8月～令和3年 7月

目標期間：令和元年 8月～令和3年 7月

所属委員会・役職名	在職年数	氏 名	年齢
総務文教常任委員会委員 広報公聴常任委員会副委員長	2	舟 山 政 男	66

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

項 目	具 体 的 な 目 標 項 目	評 価		評価の結果となった具体的な理由
		取組みの 評 価	結果の 評 価	
1. 行政分野の取り組み	町民としての日々の生活、又、町外から勤めに来られている方も含め、 安心して暮らせる町づくり。	△	△	治安のよい町である事は誇れるが、人口減少、高齢化は防げない。あるべき姿の意見を聞くことが できた。
2. 財政分野の取り組み	限られた財源を町政に活かすように取り組む。	▲	▲	多くに取り組むことができなかった。
3. 経済分野の取り組み	小規模であっても収益率の向上を目指して、農林業の発展に取り組む。	△	△	新型コロナの影響が大きかった。
4. 福祉分野の取り組み	子育て支援と介護をより一層充実させてゆく。	△	△	買い物する足確保など、話の中で不安視されることが多く、今後の課題が大きく残る結果となった。
5. 教育分野の取り組み	将来に於いて、この町で育った事に自信と誇りが持てるように平等な 教育・保育が受けられるように取り組む。	△	△	フラワー長井線利用の通学定期券費用を、米坂線利用の通学定期券費用なみにと一般質問で問 う。
6. その他の取り組み	冬期の安心・安全な暮らしの確保と、雪の利活用について。	△	△	町道除雪は、概ね確保できていると思われるが、消雪について課題が残る。
		△	▲	雪利活用は不十分である。